



# 多様性を多様な視点で捉え、行動する ～京都大学と考えるD&Iセミナー～

開催日程：2022年6月14日（火）17:30～18:40

開催方式：オンライン（Zoomウェビナー）／定員：500名

参加費：無料

申込締切：2022年6月10日（金）17:00

以下、または右記コードよりお申し込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/3dac0681171668>



主催：京大オリジナル株式会社

共催：京都大学産官学連携本部、NewsPicks for WE

皆様の企業では、ダイバーシティ&インクルージョン（以下D&I）の取り組みをどのように進めていますか？  
“従業員に浸透しない”“経営指標に現れない”といったお悩みをもつ企業も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

本イベントは、多様性を多様な視点で捉えることを大切に、京都大学の様々な分野の研究者に、その視点から見たD&Iについての考えを提示いただきます。

“多様な価値観をもつ従業員が一丸となってD&Iの取り組みをすすめるには、そもそも、その多様性を捉える必要があるのではないのでしょうか？”

“経営指標など経営上の論理だけでは、物事はなかなか進まないのではないのでしょうか？”…etc

そのような問題意識を持ち、多様な学問の視点からD&Iを見つめ直すきっかけになればと考え、本イベントを開催しております。

D&Iのご担当者様のほか、マーケティング、研究開発部門…などなど、多様なバックグラウンドをもつ皆様と一緒に思索できれば幸いです。  
ご参加お待ちしております。

## ●プログラム

17:30 開会

17:35 D&Iに向けて企業と大学は何ができるか  
～森林科学の視点から～

17:55 質疑応答

18:05 アジアの重層的な多様性を解読する  
～家族とジェンダーの視点から～

18:25 質疑応答

18:35 プロジェクト紹介

## ●登壇者



### 伊勢 武史

（京都大学フィールド科学教育研究センター 准教授）  
生態学と環境科学、特に森林や湿地など世界の様々な陸上生態系の動きをシミュレーションで再現する研究が専門。生態系シミュレーションを軸に、各地の森林などでの野外観測や、衛星観測データを用いた生態系の観測などを融合した研究を行っている。著書に『学んでみると生態学はおもしろい』（ベレ出版・2013年1月）、『2050年の地球を予測する科学でわかる環境の未来』（筑摩書房・2022年1月）などがある。



### 落合 恵美子

（京都大学大学院文学研究科 教授）  
近代家族論とその枠組みによる戦後日本家族変動論、現代日本とアジアにおける家族とジェンダーの変容の比較社会学的研究、徳川時代の宗門人別改帳を用いた歴史人口学的分析による「家」の成立過程の解明等に携わってきた。近年はケアなど人間の再生産のために必要な活動を社会科学の対象として位置付ける理論枠組みを中心に研究している。